

府養研ニュース

平成18年6月20日 発行
 大阪府養護教育研究会
 会長 河田 安男
 （藤井寺市立第三中学校）

7月号
 は3日
 発行予
 定です。

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp>

来年8月8日は府養研55周年記念大会 <http://fuyouken.visithp.jp/55/>

問い合わせ・ご意見は、Mailで本部役員まで jimukyoku@fuyouken.visithp.jp

件名に「府養研問合せ」など「府養研」を入れてください。

号外の発行についてと ホームページ閲覧のお願い。

夏休みに府養研や他団体の各種講演・研修が多く企画されています。ニュースは予定日どおりに発行できるように努力しておりますが、添付する案内の内容が期日までに決定しない場合は、発行延滞する場合があります。反対にできるだけ早く予定をお知らせしたい場合もあります。それらの矛盾を補間する意味で「号外」を発行することにしました。一方、一部地域では、地区担当者（多くは激務に追われる担任であることがほとんどです。）が、郵送された原稿、またはホームページからダウンロードした原稿を印刷し、通送便で配布していただいている場合があります。ニュースはメールを前提としていますので、通送の場合、急な発行日変更や大量のページにすべて対応するのはかなり無理があります。メールが登録されていない地区では、できるかぎり各校でホームページからの情報確認をお願いします。

お知らせ 改正学校教育法が15日に可決しました。

http://www.shugiin.go.jp/index.nsf/html/index_gian.htm

研究部

☆ LD教育プロジェクト講演会平成18年8月29日（火）

☆ **くわしい案内添付** ICT活用プロジェクト連続講座

平成18年8月17日（木）から18日（金）

☆ 自閉症教育プロジェクト 講演会平成18年6月 事例研究会 平成18年8月
 本人トーク及びシンポジウム 平成18年11月 シンポジウム平成19年2月

研修部

☆ **案内添付** テーマ別研修会平成18年8月8日（火）

☆ **案内添付** 実技講習会 平成18年8月24日（木）

☆ 教育講演会

行事部

☆ 施設見学会 たまがわ高等支援学校 **申込締切は、6月30日厳守**

平成18年8月25日（金）午後2時～5時

☆ 府教委との懇談会 平成19年1月

他団体から

1. 第43回 近畿ブロック研究協議会大阪大会 グランキューブ大阪 平成18年8月22日（火）

2. ムーブメント教育研究会夏期セミナー IN 大阪 **案内添付** 平成18年8月26日（土）27日（日）

8. 講座

講座は、両日とも午前の部（AM）9：30～12：30、午後の部（PM）14：00～17：00の時間帯で設定しておりますが、講座によっては、複数の時間帯にまたがるものもございます。各講座の時間帯をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

なお、講座Cを受講される方は、講座Bがオリエンテーションとなりますので、必ず講座Bも受講してください。

講座一覧（○印の時間帯にその講座がもたれます。表下の注もご覧ください）

講 座		17日(木)		18日(金)	
記号	講 座 名	AM	PM	AM	PM
A	あなたも作れるFlash教材 講師：神佐 博 先生	○	○	○	○
B	フラッシュアニメーション作りを通して高める自己肯定感 ～アスペルガー症候群の中学生A児の奮闘記～ 講師：廣瀬正彦氏	○			
C	超初心者向け！フラッシュで作る簡単アニメーション講座 講師：廣瀬正彦氏		○	○	○
D	アシスティブテクノロジー概論 講師：大杉成喜先生・佐原恒一郎先生	○			
E	スティブ・テクノロジー・コンシダレーション演習 講師：大杉成喜先生・佐原恒一郎先生他		○		
F	MOCAシンボルの作成講座（定員20名） 講師：大杉成喜先生・佐原恒一郎先生他			○	
G	肢体不自由のある子どものバンド演奏 ースチールギター等を活用した音楽活動支援ー 講師：大杉成喜先生・佐原恒一郎先生他				○
H	学校に必要なJIS絵記号の製作と活用 講師：槇場政晴先生	○	○		
I	シンプルVOCA作成講座（定員20名） 講師：大井 雅博先生		○		
J	スイッチ作成とおもちゃ改造講座（定員20名） 講師：金森先生他（マジカルトイボックス）			○	○
K	肢体不自由のアシスティブテクノロジー 講師：大前洋介先生他	○			
L	重度の障害のある生徒へのコミュニケーション指導 話題提供者：近藤春洋先生		○		
M	養護学級でのICT活用の実際 話題提供者：浜崎仁子先生・藤岡聖典先生他			○	
N	「高めよう！生活力（=子どもたち）と指導力（=教師集団）！」by 自作ソフト&プロジェクター 講師：小西順先生				○

9. 懇親会

17日（金）の講座終了後、懇親会を予定しております。
参加費実費で、会場は当日お知らせいたします。

参加いただける方は、申し込み時にお知らせください。

10. 備考

※府養研ニュース7月号発送時に、一次申し込みの状況をお知らせします。

※定員に満たない講座は、当日参加も可能です

HPの参加者状況をご確認ください。

ただし、準備の都合がありますので、できる限り、7月末までに事前申し込みをお願いします。

※定員を超えた場合を除いて、受付受諾の連絡をいたしません。

※各講座の会場は、当日受付にてお知らせいたします。

※靴は、靴入れをご用意しますので、会場に持ってお入りください

※会場内では名札をお付けください。

府養研ICT活用プロジェクト夏期講座各講座内容概略

各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参する物等の記載がございますので、よくお読みください。

なお、講座の流れがありますので、各講座の部分参加はご遠慮ください。。

6月30日の一次締め切りのときに定員を超えている場合、主催者で抽選させていただきます。それ以後は、先着順の受付いたします。

講座A	17日(木)・18日(金)9:30~17:00
講座名	あなたも作れるFlash講座
講師	神佐 博 先生 (石川県立七尾養護学校珠洲分校教頭)
内容	<p>Webページでは、Flashを使った自作教材が数多く公開されています。「自分も作ってみたい」と思われませんか。</p> <p>本講座ではFlashでマッチング教材等の作成をします。テンプレートを準備いたしますので、難しそうと思わず一度ご参加ください。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> Flash または、以下のサイトからFlash Basic 8 体験版 (30日間無償) をインストールしたパソコンをご持参ください。 http://www.adobe.com/jp/products/flash/basic/ 延長コードがありましたらご持参ください。

講座B	17日(木)9:30~12:30
講座名	フラッシュアニメーション作りを通して高める自己肯定感 ～アスペルガー症候群の中学生A児の奮闘記～
講師	廣瀬 正彦氏 (こ・めでいあセンター代表)
内容	<p>◎地元の中学に入学、複数の小学校から生徒が集まっているため、これまで障碍について理解してくれていた小学校の同窓生たちとは違う同級生の中で、コミュニケーションのつまづきなどからトラブルを起こしてしまうことも何度かあった。</p> <p>◎PCに興味があったこと、自宅で家族共用だが操作できる環境があったことなどから、「好きなこと、楽しめること」探しを目的に「こ・めでいあセンター」を訪ねた保護者。週一回(土曜日)一時間、PCを介在したコミュニケーションが始まった。</p> <p>◎自宅でのPC操作は一日一時間限定。大半をゲームとフラッシュコンテンツのブラウズに費やしていたこと、4コマ漫画や推理ストーリー作りなどに興味があって、ノートにコンテを描いていたことなどを話してくれたことから、「じゃあ、フラッシュアニメーションを一緒に作ろうよ!」と提案。</p> <p>◎週一回の「こ・めでいあセンター」での共有時間は、A児のやりたいこと、イメージをぶつけてもらい、市販の教則本をあっちこっちひっくり返して、実現の方法、テクニックを探ることと、経過を発表してもらうこと。</p>

- ◎自宅では一日一時間、こつこつと土曜日に得たテクニックやヒントから作品を一步ずつふくらませていく。自分でも参考書を購入して、自己流でテクニックを見つけ出したり、フラッシュの勘所を磨いていった。
- ◎作品作りの過程そのものの楽しさ、充実感、できあがっていく作品の質、量の向上に対する指導者や家族、友人の評価がもたらす達成感、喜び。
- ◎さらに作品の向上に努め、ネットへの投稿や自分のホームページ開設とその中での作品公開など、自己表現の広がりに向けて、取り組みは続く…。

備考

※廣瀬 正彦氏が代表をされてるこ・めでいあセンターのHPは以下です。
<http://www.kcn.ne.jp/~booboo/>

講座C	17日(木)14:00~17:00・18日(金)9:30~17:00
講座名	超初心者向け！フラッシュで作る簡単アニメーション講座
講師	廣瀬 正彦氏（こ・めでいあセンター代表）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◎技術評論社の「速習Webデザイン FLASH MX 2004」（境 祐司 著）を購入していただき（参加者数分こちらで用意します。実費2700円）教本にして、同書に添付されているFLASH MX 2004 体験版を、持参していただいたPCにインストールしていただいて演習します。 ◎一日目午後～二日目午前は教本付録のCD-ROMに入っている演習教材に取り組んでいただきながら、フラッシュアニメーション作成の流れと勘所をつかんでいただきます。 ◎二日目の午後はオリジナル作品作りの端緒についていただき、最後に途中経過でも結構ですので発表会、品評会を行います。 ◎教本は初心者にも取っつきやすく書かれていて、演習教材も充実しているので、二日間の講習で「フラッシュムービーって思っていたより楽しく気軽に制作活動ができるんだ」「引き続き自分で深めていこう」「アクションスクリプトまで学んでみよう」「いま受け持っている児童生徒用の教材を作ってみよう」「児童生徒自身にも制作させてみよう」といった動機付けにさせていただけるのではないかと考えています。
備考	<p>※教本代2700円は当日、講座時に徴収いたします</p> <p>※以下の要件を満たすパソコンをご持参ください。</p> <p>Windows PentiumIII600MHz以上のCPU・OSは98SE/2000/XP日本語版・・128MB以上の空きメモリ（256MB以上推奨）・190MB以上のハードディスク空き容量・表示解像度1024×768、16ビット以上・CD-ROMドライブ</p> <p>Macintosh PowerPC G3 500MHz以上のCPU・OSは Mac OS X 10.2.6以降、10.3日本語版・128MB以上の空きメモリ（256MB以上推奨）・130MB以上のハードディスク空き容量・表示解像度1024×768、16ビット以上・CD-ROMドライブ</p> <p>詳しくは http://www.adobe.com/jp/support/flash/ に掲載されています。</p> <p>※延長コードがありましたらご持参ください</p> <p>※廣瀬 正彦氏が代表をされてるこ・めでいあセンターのHPは以下です。 http://www.kcn.ne.jp/~booboo/</p>

講座D	17日(木) 9:30~12:30
講座名	アシスティブテクノロジー概論
講師	大杉成喜先生 (国立大学法人 滋賀大学教育学部附属養護学校教諭) 佐原恒一郎先生 (千葉県立袖ヶ浦養護学校教諭)
内容	
<p>特別な教育ニーズのある子どもの支援にテクノロジーを活用することを「アシスティブ・テクノロジー」と呼びます。米国ではIEPの中にアシスティブ・テクノロジーが位置づけられ浸透しています。</p> <p>本講座では、アシスティブ・テクノロジーについて初歩から学んでいただきます。例年通り、「新ネタ」と「お笑い」を用意します。</p>	

講座E	17日(木) 14:00~17:00
講座名	アシスティブテクノロジー・コンシダレーション演習
講師	大杉成喜先生 (国立大学法人 滋賀大学教育学部附属養護学校教諭) 佐原恒一郎先生 (千葉県立袖ヶ浦養護学校教諭) 他
内容	
<p>学校教育の中でアシスティブ・テクノロジーを導入する上では、子どものニーズをどのようにとらえ、支援を考え、指導計画に位置づけていくかが大切です。その「考慮(審議)」はConsideration (コンシダレーション) と呼ばれ、「チームでの問題解決」の手法が用いられます。</p> <p>本講座では、実際の事例をもとにアシスティブ・テクノロジー・コンシダレーション演習を行います。</p>	

講座F	18日(金) 9:30~12:30
講座名	MOCAシンボル作成講座
講師	大杉成喜先生 (国立大学法人 滋賀大学教育学部附属養護学校教諭) 佐原恒一郎先生 (千葉県立袖ヶ浦養護学校教諭)
内容	
<p>MOCA(Manga Output Communication Aid)は漫画的手法を用いたコミュニケーション・シンボルです。PICOTや「私の伝えたいこと」シンボル同様、動詞や形容詞の認識性に優れています。</p> <p>佐原恒一郎先生が絵を描いており、今年も皆様のご要望にお応えしてシンボルを作成いたします。</p>	

講座E	18日(金) 14:00~17:00
講座名	肢体不自由のある子どものバンド演奏 —スチールギター等を活用した音楽活動支援—
講師	大杉成喜先生 (国立大学法人 滋賀大学教育学部附属養護学校教諭) 佐原恒一郎先生 (千葉県立袖ヶ浦養護学校教諭) 他

内容
<p>障害のある子どもの合奏では、その障害が重いほど打楽器等が割り当てられることが多いですね。でも、打楽器を担当するだけでは満足感は得にくいのではないのでしょうか。</p> <p>そこでアシスティブ・テクノロジーの出番です。スチールギター等を活用した本物の音を使った満足感のある合奏を体験していただきます。</p>

講座H	17日(木) 9:30~17:00
講座名	学校に必要なJIS絵記号の製作と活用
話題提供	榎場政晴先生 (大阪府立茨木養護学校教諭)
内容	<p>2005年度に経済産業省からPICシンボルを基にしたJIS絵記号の規格が発表がありましたので、これを機会に、今、学校で必要なシンボルとはどんなのもかを参加者皆で考え、JISシンボルの書き方原則に沿って新しいシンボルを作ってみたいと思います。そして、この夏に五大エンボティから公開されるPICTOPRINT Ver.2.1 を利用し、コミュニケーションブック作りをしたいと思います。</p>

講座 I	17日(木) 14:00~17:00
講座名	シンプルVOCA作成講座
話題提供	大井 雅博先生 (三重県立西日野養護学校教諭) 他
内容	<p>VOCA (Voice Output Communication Aid) は、使ってみたいけど、高いなと思われる方、一度手作りをして見ませんか。</p>
備考	<p>※材料費が1000円程度必要です。</p> <p>※はんだごて・はんだ・こて台・小さいプラスドライバー・ニッパ・延長コードなどの工具を持参いただける方は、申し込み時にその旨ご記入ください。</p>

講座 J	18日(金)9:30~17:00
講座名	スイッチ作成とおもちゃ改造講座
話題提供	金森克浩先生 (東京都立光明養護学校教諭) 他 (マジカルトイボックス)
内容	<p>簡単なスイッチの製作とおもちゃの改造を行います。また、子どもたちと関わるためのアイデアやヒントについて紹介します。</p>
備考	<p>※材料費は実費になります。</p> <p>※はんだごて・はんだ・こて台・小さいプラスドライバー・ニッパ・延長コードなどの工具を持参いただける方は、申し込み時にその旨ご記入ください。</p> <p>※マジカルトイボックス：http://homepage3.nifty.com/aac/</p>

講座 K	17日(木)9:30~12:30
講座名	肢体不自由のアシスティブテクノロジー
講師	大前洋介先生（神戸市立友生養護学校教諭）他
内容	
<p>特殊入力機器ということで インテリキー（アクセスインターナショナル）の有効な使い方 かおマウス（ストラトゲイト）の有効な使い方 できマウスの有効な使い方 などを紹介するセミナー</p>	
備考	
<p>※講座内容で紹介されている機器は下記参照 インテリキー http://www.accessint.co.jp/cgi-bin/products/index.php?id=92 かおマウス http://www.stratogate.co.jp/ できマウス http://deki.psv.org/ ※実際の製品等を見せていただける予定です。</p>	

講座 L	17日(木)14:00~17:00
講座名	重度の障害のある生徒へのコミュニケーション指導
講師	近藤春洋先生（大阪府立交野養護学校教諭）
内容	
<p>障害のある生徒のQOL（生活の質）の向上を考える時に、生徒が自己決定したことをどのような方法で表出するのかということが重要な課題になります。 本講座では、パソコンやVOCA（音声出力コミュニケーションエイド）など支援技術を使って、どのようにQOLの向上を目指したのかを2年にわたる実践の記録を通じてお伝えします。試行錯誤の2年間のお話を聞いていただき、重度の障害のある生徒へのコミュニケーション支援についてみなさんと一緒に考えていければと思っています。</p>	

講座 M	18日(金)9:30~12:30
講座名	養護学級でのICT活用の実際
話題提供	浜崎仁子先生（和泉市立鶴山台南小学校教諭） 藤岡聖典先生（東大阪市立繩手南中学校教諭）他
内容	
<p>小学校や中学校の養護学級でのICT活用の実際について、話題提供をしていただき、参加者の皆さんの実践も出していただきながら、いろいろなアイデアを共に考えていく講座としていきたいと思っています。</p>	

講座 N	18日(金)14:00~17:00
講座名	「高めよう！生活力（=子どもたち）と指導力（=教師集団）！」 by 自作ソフト&プロジェクター
講師	小西 順先生（大阪府立岸和田養護学校教諭）

内容

講座は以下の三部の構成になります（第三部を除いての参加も可です）

第一部「コミュニケーションを確立するためにパソコンを如何に活用するか」

グラフを使って説明。講義。

第二部「生活体験学習で、利用出来るオリジナルソフトの紹介」

具体的には「マクドナルドへ行こう！」「ATMなんか怖くな～い！」「ビデオを借りに行こう！」「ローソンに行こう！」等のソフト実演

三部「だれもが出来る簡単ソフト作り」

Flashを使っての「電子絵本ソフト」や「電子アルバムソフト」の作り方の説明と実習

備考

※第三部を除いての参加も可とします

※第三部も参加される方は、以下をご持参ください

Flash または、以下のサイトからFlash Basic 8 体験版（30日間無償）をインストールしたパソコンをご持参ください。

<http://www.adobe.com/jp/products/flash/basic/>

延長コードがありましたらご持参ください。

また、基本的には初心者の参加も可ですが、デジタル写真と音声の取り込みや編集ができる程度が望ましいです。

※小西先生の「障害児教育とパソコン」：<http://homepage.mac.com/mamenchi55/>

府養研 テーマ別 研修会 案内

『 子どもたちの理解と個への支援 Q&A 』

府下の障害教育に関わる先生方が、日頃の指導上の疑問や悩みを相談できる機会として続けてきております『テーマ別研修会』を本年度も計画しました。アンケートのご意見などをふまえて、今年度も夏休み中に行うことに致しました。

1学期を終えて、子ども達の状況が分かり、課題や問題点の出てきたこの時期に、それらを整理して見直す視点や具体的な対応策などを、助言の先生方のお話をいただきながら話し合いたいと思います。

養護学級担任の先生方だけでなく、通常の学級の先生方も、是非ご参加下さいますよう、ご案内致します。

1. 日 時 平成18年8月8日(火) 午後2時～4時30分
(受付 午後1時30分より)
2. 場 所 八尾市文化会館 プリズムホール
大阪府八尾市光町2-40
近鉄大阪線「八尾駅」下車 徒歩3分
3. 申込先 テーマ別に各分科会担当者まで、FAXでお申し込み下さい。(下の表をご覧ください)
ただし、質問がある方は封書にてお送り下さい。
4. 締め切り 7月14日(金)
5. 参加費 無料 *各分科会定員 50名(先着順となります。)

【申込み・問い合わせ先】

分科会	学 校 名	担当者	住 所	FAX番号
第1分科会	大東市立北条西小学校	中野暁人	大東市北条1-16-16	072-878-1246
第2分科会	泉大津市立旭小学校	佐藤京子	泉大津市昭和町2-27	0725-31-4032
第3分科会	八尾市立曙南中学校	北山美穂	八尾市八尾木167	072-994-1419
第4分科会	阪南市立鳥取中学校	西 尚子	阪南市黒田341	072-472-1882
第5分科会	堺市立神石小学校	大村葉子	堺市西区石津町2-6-1	072-241-2158
第6分科会	羽曳野市立峰塚中学校	今村雅彦	羽曳野市西浦6-48	072-956-7423

各分科会のテーマと助言の先生方

第 1 分科会	障害児の医療的ケア
肢体不自由を中心に、様々な医療的な問題をかかえた子どもたちへの医療的ケアについて 助言 大阪教育大学名誉教授・医学博士 小西正三 先生	
第 2 分科会	発達支援のあり方とネットワーク作り
発達障害の子どもたちへの支援のあり方と適切な支援を得るためのネットワーク作りについて 助言 大阪市発達障害者支援センター所長 近藤伸爾 先生	
第 3 分科会	軽度発達障害児の指導・支援
軽度発達障害の子どもたちの理解と指導、支援に関する具体的な方法について 助言 大阪府健康福祉部 伊丹昌一 先生	
第 4 分科会	個別の教育支援計画の作成と展開
子どもたちの「個別の教育支援計画」作成の実際と具体的な展開について 助言 大阪府立岸和田養護学校教頭 小塚敏憲 先生	
第 5 分科会	てんかんを持つ子どもたちへの支援とケア
てんかんを持つ子どもたちの理解と具体的な支援の方法について 助言 大阪教育大学附属養護学校 坂下 茂 先生	
第 6 分科会	性に関する課題のある子どもたちの理解と対応
発達に障害のある子どもたちが、思春期を迎えるにあたっての性の問題の理解と実際の指導について 助言 大阪知的障害者育成会地域支援担当 中村昭代 先生 日本自閉症協会近畿ブロック代表理事 大橋一予 先生	

----- 切り取り線 -----

府養研テーマ別研修会 参加申込と質問内容

宛 先	第 () 分科会担当	市立	学校	先生 宛
参加者氏名	(連名可)			
所 属 校	市立		学校	
連 絡 先	TEL	FAX		
以下は質問のある方のみお書き下さい。質問内容は、学年・組・性別・障害状況・問題となる行動などを、簡潔・具体的にお書き下さい。この欄に記入された方は、個人情報保護の観点から、封書にて郵送して下さい。スペースが足りない場合は、適当な用紙をご利用下さい。				

平成18年6月22日

学 校 長
養護教育関係者様

大阪府養護教育研究会
会 長 河田 安男

実 技 研 修 会 の ご 案 内

学期末のあわただしい時期、先生方もご活躍のことと存じます。
さて、例年実施しております府養研「夏の教材製作講習会」を下記のように実施いたします。ふるってご参加ください。

記

- (1) 日 時 平成18年8月24日(木) 10時～16時 (受付 9:30～)
- (2) 場 所 アピオ大阪 (会場の地図は末尾にあります)
〒540-0003 大阪市中央区森之宮1-17-5 TEL 06-6941-6331
- (3) 講 師 象 の 会 (内藤 壽・松永 榮一・朝井 翔二 各先生)
さざんか (手作り布おもちゃで活躍するグループの方々5名)
- (4) 内 容 午 前: 簡単おもちゃづくりとお話 (物づくりの意味)
午 後: 下記のお好きな教材を選んで製作していただきます。

*それぞれの製作所要時間は、60～150分です。午後2つ作ることも可能です。

<p style="text-align: center;">① 鬼のマント</p> <p>鬼に向かってクイックロンテープを貼った特製のボールを投げます。うまく鬼に当たればそのままマントにくっついて残り、自分のした結果が確認できるので、子どもたちは意欲満々、鬼を追いかけて当てようとします。</p> <p><用意するもの> 材料費 5,000円(予定) 木綿針(3本位) 待ち針(若干)、裁ちばさみ、指貫、チャコ、ものさし</p> 	<p style="text-align: center;">② ブラックボックス</p> <p>名前を聞いて、形を思い浮かべながら手探りでそのものを探す。もののイメージを育て、感触を豊かにする遊びです。ところが意外とむずかしいのが、手を差し込む部分の素材です。紙だとすぐ破れてしまうし、布だと腰がないし、そこで何かいいものはないかと探してみました。</p> <p><用意するもの> 材料費 800円(予定)、30センチ定規、千枚通し、小さな+ねじ回し</p> 
<p style="text-align: center;">③ おーい</p> <p>声で動く教材はたくさんあります。でも、どれも長いコードがついていたりして扱いにくいものでした。そこでコードレスのおもちゃを声で動くようにしてみました。マイクに向かって声を出すと自動車が動きます。(マイクの形は図と異なります。)</p> <p><用意するもの> 材料費 2,000円 小さなプラスドライバ、ニッパー 両面テープ 10mm幅 を用意してください。その他必要なものはこちらで用意します。</p> 	<p style="text-align: center;">④ 簡単くすだま</p> <p>お誕生会、お祝い会などくすだまを使いたい機会はいっぱいあります。このくすだまは紙ふぶきではなくて、紙テープがくるくると舞い落ちてくるもので、長く続くので子どもたちが見続けて、演出効果抜群です。</p> <p><用意するもの> 材料費 500円、 紙テープが入る大きさのゼリー空き容器 2個(株)たらし(0120-14-1105)の容器が最適 ※文書末尾参照 はさみ、カッターナイフ、千枚通し</p> 

<その他>

※昼食の持ち込みはできません。(昼食時間12時～13時予定)

(5) 準備物・費用 上表参照 **当日は、作品を入れる袋を各自ご持参ください。**
午前中のおもちゃ作りには、はさみ、カッター、セロテープ、ホッチキス、定規が必要。

(6) 申し込み方法 下記用紙にご記入の上、支部役員まで、**FAX**でお申し込みください。

支 部 名	役 員 名	学 校 名	FAX 番号
豊 能	鷹取はた江	池田市立五月丘小学校	072-751-4201
三 島	春日伸江	高槻市立五領小学校	072-669-0183
北 河 内	中野暁人	大東市立北条西小学校	072-878-1246
中 河 内	北山美穂	八尾市立曙南中学校	072-994-1419
南 河 内	今村雅彦	羽曳野市立峰塚中学校	072-956-7423
堺	大村葉子	堺市立神石小学校	072-241-2158
泉 北	佐藤京子	泉大津市立旭小学校	0725-31-4032
泉 南	西 尚子	阪南市立鳥取中学校	072-472-1882
大阪市・その他	大島 昇	大阪教育大学附属養護学校	06-6708-2380

(7) 申し込み締め切り 平成18年7月14日(金)

*申込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

(8) 問い合わせ先 大阪教育大学附属養護学校 大島 昇

TEL06-6708-2580 FAX.06-6708-2380

(9) くすだまに使えるちょうどよい空き容器 2個必要

以下のメーカーのものが、大きさ、つばの広さでぴったりでした。

商品名 ミックスゼリー

製造者 ㈱たらみ 長崎市中里町2178 電話 0120-14-1105

こんな感じの商品 右は完成写真この中に紙テープが入ります。



.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....

申 込 用 紙	
送 信 先	() 学 校 支部役員 () 宛 FAX 番号 () - () - ()
申 込 者	() 様
学 校 名	() 学 校
FAX 番号	() - () - ()
希望作品番号に○印	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

※ 申込を受付したことをお知らせするご案内は致しませんので、この用紙をご持参の上、当日会場へお越しください。

尚、会場の都合上、人数に制限がありますので、残念ながら抽選にもれた方のみ、連絡させていただきます。



アピオ大阪（会場へのアクセス）

■交通/JR 環状線又は地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮駅」下車すぐ。日生球場跡東側。

ムーブメント教育 夏期セミナーのご案内

NPO 法人認証記念

特別支援教育の新たなスタートに向けて

主催：特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療育協会

関東支部・北陸支部・信越支部・大阪支部・札幌支部

セミナーへのおさそい

ムーブメント教育・療法は、1977年に横浜国立大学教授の小林芳文博士によってわが国に初めて紹介され、研究と実践と普及活動を始めてから、既に30年を迎えました。『みんなの喜びと健康と幸福感の達成をめざす』ムーブメント教育は、今では、全国の保育園・幼稚園・小学校・中学校・養護学校等の教育関係機関だけでなく、重症心身障害児(者)施設、独立行政法人国立病院機構を始め医療機関、地方自治体での高齢者ニューリハビリテーションとしても広く応用されています。

2006年3月15日付で東京都知事より『特定非営利活動法人日本ムーブメント教育・療法協会』が認証されたのを機会に、今年度は、『特別支援教育の新たなスタートに向けて』を全体のテーマとして、横浜・福井・松本・大阪・札幌の5会場で夏期セミナーを開催します。

今回大阪で初めて夏期セミナーが開催されることとなりました。

横浜国立大学教授 小林芳文先生の実技をはじめ、東京福祉大学大学院教授：是枝喜代治先生、鎌倉女子大学児童学部教授：飯村敦子先生など著名な先生方が大阪に来られ、講演実技を行っていただけます。

ムーブメント教育に興味のある方はもちろんのこと、ムーブメント教育についてこれから取組んでみようと思われる方など、ぜひご参加ください。

添付資料を確認の上、お申し込みください。

なお詳しいパンフレットをご希望の方は、至急お送りいたしますので、下記連絡先までご連絡ください。

夏期セミナー IN 大阪

日時 平成18年8月26日(土) 27日(日)
会場 大阪国際会議場 大阪市北区中之島5-3-51
受講料 会員 9,000円 一般 10,000円



問い合わせ（参加申し込み）（携帯・メールもしくはFAXをお願いします）

JAMET大阪支部 事務局 高井照隆

E mail kogorou123@nifty.com

携帯 090-9995-5223 自宅 FAX 072-367-0713